

ワークショップ
『降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究(第8回)』

日時： 2010年3月4日(木) - 5日(金)

場所： 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 大会議室（新潟県長岡市）

プログラムが確定しました。下記の通りです。
多数の皆様のお越しをお待ちしております。

講演予稿pdfを見ることができます。（別ウインドウで開きます）

○このワークショップの参加は無料です。セッション参加の事前申し込みは必要ありません。

■■■ プログラム ■■■

ワークショップ『降雪に関するレーダーと数値モデルによる研究(第8回)』

キーワード： 「対流系としての降雪」

2010年3月4日(木)

13:00 - 受付

13:30 - 13:40 あいさつ、事務連絡

13:40 - 14:10 [加藤輝之（気象庁気象研究所）](#)

雲解像モデルによる降雪予測

14:10 - 14:40 [岡本宏樹（名古屋大学 地球水循環研究センター）](#)

西風卓越時において北陸沿岸部に停滞する線状降雪帯の形成・維持メカニズム

14:40 - 15:10 [柳瀬 亘（東京大学海洋研究所）](#)

ポーラーロウの数値シミュレーション

15:10 - 15:30 休憩

15:30 - 16:00 [古市 豊（気象庁予報部数値予報課）](#)

気象庁における降雪量ガイダンス

16:00 - 16:30 [荒木健太郎（気象庁新潟地方气象台）](#)

新潟県降雪量予報について

16:30-17:00 [本吉弘岐 \(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター\)](#))
雪氷災害発生予測システムにおける非静力学モデルによる

地上気象要素の予測とその利用について

17:00-17:10 事務連絡

19:00- 懇親会

2010年3月5日(金)

09:00-09:30 [猪上華子 \(気象庁気象研究所\)](#)

庄内平野で観測された突風をもたらす気象擾乱

09:30-10:00 [中井専人 \(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター\)](#)

長岡で観測されたレーダー降雪分布と卓越降雪
粒子の変動

10:00-10:30 [篠田太郎 \(名古屋大学 地球水循環研究センター\)](#)

地上観測データを用いた雲解像モデルCReSSに
おける雪と霰の割合の検証

10:30-10:40 休憩

10:40-11:10 [橋本明弘 \(気象庁気象研究所\)](#)

4-ICE バルク法微物理過程の開発

11:10-11:40 [三隅良平 \(防災科学技術研究所水・土砂防災研究部\)](#)

多次元ビン法モデルによる雪雲のシミュレ
ーション

11:40-12:00 総合討論

午後

エクスカージョン

雪氷研積雪気象観測点ツアー(栃尾田代、山古志)

<http://www.bosai.go.jp/seppyo/> から

「2009/2010 山地積雪速報値開始」をクリック

Webカメラあります。

○アクセス： 新幹線／信越本線 長岡駅東口6番から
越後交通バス栖吉線 前山町入口下車

<http://www.echigo-kotsu.co.jp/contents/diagram/>